

第3章 障害福祉サービス・地域生活支援事業

第1節 障害福祉サービス及び指定相談支援事業等の利用状況及び見込量

1-1 訪問系サービス

(1) 居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、行動援護、同行援護、重度障害者等包括支援

① サービスの内容

サービス	サービスの内容	対象者 (障害支援区分)
居宅介護	ホームヘルパーを派遣し、自宅で入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	区分1以上
重度訪問介護	重度の肢体不自由者または重度の知的障害者もしくは精神障害により著しい困難を有する人であって、常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行います。	区分4以上
同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人に、移動に必要な情報の提供、移動の援護等の外出支援を行います。	視覚障害により、移動に著しい困難を有する人
行動援護	自己判断が制限されている人が行動する時に、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行います。	区分3以上
重度障害者等包括支援	介護の必要性がとて高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行います。	区分6

② サービス利用状況及び見込量

サービス利用実績はほぼ横ばいとなっています。

視覚障害のある方の相談が多くなってきており、サービス利用希望も増えてきています。病気等で入院するケースもあり、退院後のサービス利用や支援体制の検討が重要になってきています。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護・重度障害者等包括支援	(時間/月)	527	469	498	507.5	502.5	502.5
	(人/月)	41	39	40	43	42	42

③サービスの確保策

利用者のニーズを把握し、地域生活支援事業とも併用しながら事業を推進していきます。視覚障害者や病院を退院した障害者についても、関係機関と連携を図りながら、ニーズに合わせて事業を推進していきます。

1-2 日中活動系サービス

(1) 生活介護

①サービスの内容

サービスの内容	対象者 (障害支援区分)
常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供します。	区分3以上 (50歳以上は区分2以上)

②サービス利用状況及び見込量

利用実績はほぼ横ばいですが、今後は、障害者の高齢化に伴い利用希望が増加すると見込まれます。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生活介護	(人日/月)	1,689	1,647	1,637	1,751	1,791	1,825
	(人/月)	84	82	81	87	89	91

③サービスの確保策

今後の利用希望の動向等について、サービス提供事業所とも情報交換を行いながら、事業を推進していきます。



折り紙教室：月1回地域の方に来て頂き季節の折り紙などを折って楽しんでいます。

(2) 自立訓練（機能訓練）

①サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
身体障害者を対象として、病院を退院もしくは特別支援学校を卒業した後、地域生活を営むことができるよう、身体機能、生活能力の維持向上等のために必要な訓練を行います。(標準利用期間1年6月間)	自立した日常・社会生活を営むことができるよう身体機能や生活能力の維持・向上のための訓練等が必要な身体障害者。

②サービス利用状況及び見込量

対象者が限定されていることもあり、利用実績は少ない状況にあります。平成27年度は利用希望が1名あり、その数値を見込んでいます。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自立訓練 (機能訓練)	(人日/月)	0	0	0	22	0	0
	(人/月)	0	0	0	1	0	0

③サービスの確保策

特別支援学校等へのサービス内容の情報提供に努め、ニーズを踏まえて対応していきます。

(3) 自立訓練（生活訓練）

①サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
知的障害者や精神障害者を対象として、病院や施設を退院、退所したり、特別支援学校を卒業した後、地域生活を営むことができるよう、生活能力の維持向上等のために必要な訓練を行います。(標準利用期間2年間)	自立した日常・社会生活を営むことができるよう生活能力の維持・向上等のために支援・訓練等が必要な知的障害者または精神障害者。

②サービス利用状況及び見込量

利用実績としては、特別支援学校卒業生や病院を退院した障害者の利用がありました。今後は、特別支援学校卒業生のほか、精神及び知的障害者の安定した地域生活への移行に向けて利用希望があると思われます。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
自立訓練 (生活訓練)	(人日/月)	76	74	69	34	11	23
	(人/月)	4	4	3	2	1	1

③サービスの確保策

サービス内容の情報提供に努め、ニーズを踏まえて対応していきます。

(4) 就労移行支援

①サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。(標準利用期間2年間)	就労を希望する65歳未満の障害者であって、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる者。

②サービス利用状況及び見込量

利用実績は横ばいですが、今後、障害者が一般就労を目指すためには必要なサービスです。また法の改正により、特別支援学校卒業生等が就労継続支援B型を利用する際には就労移行支援事業所等のアセスメントが必要となったため、利用希望が増加すると思われます。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
就労移行支援	(人日/月)	36	1	23	23	21	3
	(人/月)	2	1	1	1	1	1

③サービスの確保策

特別支援学校等に情報を提供し、関係機関と連携しながら事業を推進していきます。また、障害者の就労希望のニーズに合わせて、事業の推進を図ります。

(5) 就労継続支援（A型=雇用型）

①サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
一般企業等での就労が困難な場合に、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。	通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である65歳未満の障害者。

②サービス利用状況及び見込量

利用実績は増加傾向にあります。平成27年度には市内に新たな事業所が1ヶ所開設される予定であることから、今後利用希望が増えることも予想されます。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
就労継続支援	(人日/月)	322	362	426	449	451	453
(A型)	(人/月)	18	19	20	21	21	21

③サービスの確保策

特別支援学校等に情報を提供し、関係機関と連携しながら事業を推進していきます。また、障害者の就労希望のニーズに合わせて、事業の推進を図ります。

(6) 就労継続支援（B型=非雇用型）

①サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
一般企業等での就労が困難な場合に、雇用契約に基づかないで就労の機会を提供し、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。	通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である障害者で、次のいずれかに該当する者。 1. 就労経験があり、年齢や体力の面で雇用されることが困難な者。 2. 就労移行支援事業を利用した結果、B型事業の利用が適当と判断された者。 3. 上記1、2に該当せず、50歳に達している者または障害基礎年金1級受給者。

②サービス利用状況及び見込量

利用希望が増加し、実績は伸びています。今後も利用希望が継続してあると思われます。高齢となった利用者もおり、高齢者の日中活動について検討が必要と思われます。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
就労継続支援 (B型)	(人日/月)	663	690	748	769	761	761
	(人/月)	38	39	40	42	41	41

③サービスの確保策

特別支援学校等への情報提供のほか、就労移行支援事業所などの関係機関とも連携し、事業を推進していきます。

(7) 療養介護

①サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
医療を必要とする人であって、常に介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話をを行います。	医療及び常時介護を必要とする障害者のうち、長期の入院による医療的ケアを要する者で、ALS患者等気管切開を伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っている障害支援区分6、あるいは筋ジストロフィー患者・重症心身障害者で障害支援区分5以上の者。

②サービス利用状況及び見込量

利用者は固定しており、今後も継続した利用が見込まれます。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
療養介護	(人/月)	9	9	9	9	9	9

③サービスの確保策

県や医療機関などと連携しながらニーズの把握に努め、事業を推進します。



香南市イメージキャラクター © やなせたかし

(8) 短期入所

① サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
自宅で介護する人が病気などのときに、短期間、夜間も含め施設等で、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	区分1以上

② サービス利用状況及び見込量

利用実績は大幅に伸びており、また、実績以上に利用希望が多い状況にあります。緊急時の利用に加え、将来に向けて自宅以外の場で過ごす練習、といった意味での利用の希望も増えてきており、今後もさらに利用希望は増加すると見込まれます。利用希望に対して受け皿が少なく、特に重度心身障害児者の短期入所先が少ないことが課題となっています。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
短期入所	(人日分/月)	90	98	96	119	120	120
	(人/月)	10	13	15	20	21	22

③ サービスの確保策

近隣市や関係機関とも情報交換を行い、また重度障害児者へのサービスについては、県の事業についても周知を行いながら、ニーズに合わせたサービス提供体制の整備に努めます。



1-3 居住系サービス

(1) 共同生活援助（グループホーム）

①サービスの内容

サービス	サービスの内容	主な対象者
共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。また、入浴、排せつ、食事の介護等の必要性が認定されている方にはサービスも提供します。さらに、入居者間の交流を保ちながら一人で暮らしたいというニーズに応えるためにサテライト型住居があります。	区分1以下に該当する身体障害者、知的障害者または精神障害者。 介護が必要な区分2以上の身体障害者、知的障害者または精神障害者。

②サービス利用状況及び見込量

平成26年度からグループホームとケアホームが一元化しています。利用希望が多く、利用実績は増加しています。今後も介護者の高齢化などで利用希望は増加すると思われませんが、受け皿が少ないのが課題となっています。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
共同生活援助	(人/月)	36	40	39	40	39	40

③サービスの確保策

近隣市とも情報交換を行いながら、サービス提供事業所の確保に努めます。

(2) 施設入所支援

①サービスの内容

サービスの内容	主な対象者
施設に入所する人に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行います。	区分4以上(50歳以上では区分3以上)

②サービス利用状況及び見込量

利用者は固定しています。利用希望はありますが、すぐに利用できる事業所が少ないため、待機の状況にあります。障害の程度も重く、在宅生活を送るのが難しい障害者が長く入所している傾向にあり、地域生活への移行は難しい面があります。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
施設入所支援	(人/月)	51	51	49	50	50	50

③サービスの確保策

サービス提供事業所とも情報交換を行いながら、施設入所者の地域移行を推進します。

1-4 相談支援

(1) 計画相談支援

①サービスの内容

サービスの内容
障害福祉サービスの利用に際し、支給決定時のサービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行うサービスです。

②サービス利用状況及び見込量

27年度以降は、すべての障害福祉サービスの支給決定の際に計画相談支援の導入が必須となっていますが、サービス提供事業所が少ないのが課題となっています。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
計画相談支援	(人/月)	18	27	23	27	27	30

③サービスの確保策

近隣市とも情報交換を行いながら、サービス提供体制の整備に努めます。また、事業所間の情報交換の場を持ち、質の確保に努めます。



香美市イメージキャラクター © やなせたかし

(2) 地域相談支援（地域移行支援、地域定着支援）

①サービスの内容

サービスの内容	
地域移行支援	施設や病院に長期入所(入院)していた障害者が、地域での生活に移行するために必要な住居の確保や新生活の準備等について支援するサービスです。
地域定着支援	居宅で一人暮らししている障害者に対し、夜間等を含む緊急時における連絡、相談等のサポートを行うサービスです。

②サービス利用状況及び見込量

対象となる利用者が少ないことから、実績は少ない状況です。

計画期間		第3期計画			第4期計画		
サービス種別	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
地域移行支援	(人/月)	0	1	0	1	1	1
地域定着支援	(人/月)	0	0	0	0	0	0

③サービスの確保策

地域生活への移行の推進に向けて、指定相談支援事業者を中心に、病院や施設関係者等と連携を図ります。

1-5 補装具

①サービスの内容

サービスの内容
身体上の障害を補い、生活を行いやすくするための車椅子、装具、補聴器等の用具を給付するサービスです。

1-6 自立支援医療

②サービスの内容

サービスの内容
心身の障害を除去・軽減するための医療について、医療費の自己負担額を軽減する公費負担医療制度です。対象者によって、育成医療、更生医療、精神通院医療があります。

